

# 子ども・子育て支援会議を開催中ですが…

## 保護者の声が反映されるのか？

### 活発な議論が望まれる会議

来年度からの子ども・子育て新制度導入に向けて市の計画を策定するために、昨年5月に総勢21名で構成される「子ども・子育て会議」が発足。審議中です。

公募の保護者2名を含む7名の保護者が委員として参加しています。しかし、専門的な資料の意味がわかりづらい上、回数が少ない会議なので、十分に保護者の意見が反映されるか不安が残ります。

逆に、私立保育園・幼稚園会の代表からは「公立幼稚園は不効率、民営化を」など事業者サイドからの発言が目立ち、「子ども達の育ちを保障するためにはどんな計画が必要か？」という議論が不足しているようです。

## 課題は山積み、子ども中心の議論を

主な対象施設は、保育所・幼稚園と新たに導入する「認定こども園」です。施設により別基準となり格差が生じやすい上、保育所以外は利用者と施設が直接契約です。放課後児童クラブでは、これまで市のガイドラインで望ましいとしてきた施設面積「児童1人当たり1.65㎡（畳1畳分）以上」が国基準となりますが、条例案では「一定期間猶予するなどの経過措置を設けることを検討」することです。施設面での公設・民設の格差がなくなることを期待していた保護者からは、失望の声があがっています。条例は9月議会に出されるため、「子どもの最善の権利」が守られるよう基準の後退を許さないことが大切です。



**北島元雄**

文教福祉常任委員  
少子高齢化対策特別委員  
議会運営委員

24-8410

090-4065-2120

波志江町3266



**長谷田公子**

建設水道常任委員  
地域経済振興対策特別委員

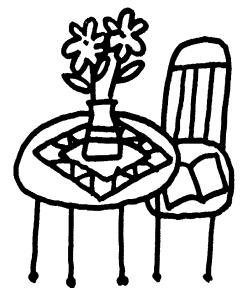
25-1130

070-5564-6271

八幡町44

「消費税増税」に「集団的自衛権」―― 庶民の暮らしへの願いに背を向ける国の政治から、市民生活を守るために頑張り

戦争への道を暴走する安倍政権に、地域から「平和と暮らし、福祉守れ」の声を、一緒に上げていきましょう！



## 生活

### 法律相談

毎月第4月曜日午後6時より  
お申込みは日本共産党市議まで

5月の臨時議会で党派や議会構成が決まり、新人議員6名全員が伊勢崎クラブに所属しました。圧倒的多数を占める大会派にいれば苦労はないでしょうが、市政への新しい風を期待して新人に投票した有権者の願いはどう受け止めるのでしょうか。伊勢崎クラブは「最低賃金を上げて」という意見書請願を否決するなど、市民の願いに背を向けています。日本共産党議員団は、議会外の市民運動とも連携して、市民要望の実現にいつそう頑張ります。なお、今議会より、日本共産党議員団が提案した地域経済振興対策特別委員会が、設置されました。